

令和 2 年度事業活動報告

1 活動の成果と課題

今年度大流行した新型コロナウイルス感染症は当法人の活動にも大きな影響を受けた。初めて直面する出来事に戸惑いながら円滑な法人運営をめざした。

障がい者就労支援事業所ワークショップようてい（以下 WS）とグループホームよろこび（GH）の事業は、法人職員らの懸命な努力により安定運営ができた。WS 利用者工賃となる就労支援事業会計の売り上げ減はあったものの、安定した訓練等給付費収入が得られたことは当法人にとって大きな励みとなった。

前年度の各規程改定に続き、2 年度も給与規定の改訂及びグループホームよろこび利用料規程新設を行い、職員や利用者にわかりやすい運営に努めた。

会員から高齢を理由とした脱退の連絡が複数あった。当法人を支えてくださる方の「世代交代」に対し、当法人の理念を理解し賛同していただける方を増やす取り組みの必要を感じる。

2 事業

- (1) 障がい者就労支援事業所ワークショップようてい の運営 【個別事業報告 1】 参照
- (2) グループホームよろこび の運営 【個別事業報告 2】 参照
- (3) K.S.C Juntos の運営 【個別事業報告 3】 参照

3 活動

(1) 精神疾患や障害に関する理解と交流、広報活動

<講演会・研修会・交流活動>

- みんなで学ぼうシリーズ…毎月第 2 水曜日の開催固定化

今年度も倶知安厚生病院への協力依頼をおこない、協力開催とする

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4/8 倶知安厚生病院精神科医師講師で開催。参加者 10 名</li> <li>・ その後コロナ禍で、陽だまり図書室の利用が出来なくなり、開催されていない。今年度の開催は 1 度きり</li> </ul>
-----------	---

- 地域の支援者のスキルアップ企画として「たね塾」を開講する

月 1 回（5 月～11 月）、全 7 回の予定

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 月、6 月は中止し、7 月より 5 回開催した</li> <li>例年定員 15 名のところを 10 名に縮小</li> <li>・ 参加者は平均 5、8 名であった</li> </ul>
-----------	---

- 地域の支援者向けの WRAP「くらっぷ」を開催する…偶数月第 4 水曜日

実施内容とその結果	会場が病院ということもあり、今年度の開催は中止した
-----------	---------------------------

<広報活動>

- 通信ともにの発行

障がい者情報の発信と法人活動の現状を伝えるため、年 10 回以上発行する

実施内容とその結果	新型コロナウイルスの影響などがあり 3 回の発行にとどまった
-----------	--------------------------------

- インターネット媒体の充実

ブログ等の更新を継続するとともに、SNSの活用充実を検討する

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブログ、ホームページは不定期に更新した</li> <li>・ SNS 活用は検討したものの実現していない</li> </ul>
-----------	--

- 他団体活動への参加を継続する

実施内容とその結果	コロナ禍のため参加していない
-----------	----------------

(2) 地域内外の福祉関係団体と連携する活動

実施内容とその結果

団体名	形態	活動内容
羊蹄山ろく地域自立支援協議会	参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相談支援事業担当者会議</li> <li>○就労支援部会</li> <li>○知ってる会？ …いずれも 3 回中止、他は書面開催およびオンライン開催を含め毎回出席</li> <li>○地域活動支援センター「夢の匠」サポート部会 …3 回中止、他は書面開催含め 8 回出席</li> <li>○障がい者地域包括ケアシステム検討会</li> </ul>
羊蹄山麓障害支援区分認定審査会	推薦	3 回開催し参加
後志圏域地域生活移行支援協議会	委嘱	1 回開催し参加、書面開催 1 回出席
倶知安町福祉フォーラム	参加	中止…来年度以降「福祉フェスティバル」に改題
後志圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会	委嘱	中止
後志保険医療福祉圏域連携推進会議	委嘱	2 回書面開催し出席
倶知安町障害者施策推進協議会	推薦	開催なし
一般社団法人北海道精神保健福祉士協会	理事	年 4 回理事会：1 回参加、オンライン 3 回出席
一般社団法人北海道精神保健福祉士協会後志ブロック	理事	毎月オンラインで開催
一般社団法人北海道中小企業家同友会しりべし・小樽支部	部会 役員	部会役員会参加 1 回、オンライン 1 回、山麓地区会研修会オンライン 1 回出席

(3) 講師派遣活動・実習受け入れ活動

実施内容とその結果

派遣先・委託契約団体	月日	派遣場所および内容
一般社団法人北海道精神保健福祉士協会	1月 30,31 日	入会時研修：オンライン（ファシリテータースタッフ
	3月 13 日	専門研修：オンライン（「コロナ禍の実践と分かち合い」シンポジスト
北星学園大学	8月 11~24 日	精神保健福祉援助実習 1 人：WS
JA 北海道厚生連旭川厚生看護専門学校	6月 10,11 日 7月 1,2 日	精神看護学実習各 3 人計 12 人：WS
一般個人	3月	障がい福祉に関わる制度や関わり方など基礎的な内容 1 人：WS

(4) 組織の運営安定化、拡充活動

- 会員・寄付者を増員させるため、人的、経済的協力を広く集めるための活動をする

実施内容とその結果	会員増員を目指した具体的活動はおこなえなかった
-----------	-------------------------

- 正会員 25 人、賛助会員は 10 団体、個人 100 人を目指す

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正会員：20 人(1 人加入 1 人脱退)</li> <li>・賛助会員：個人 75 人(-7 人)、団体 6 団体(±0)</li> </ul>
-----------	---

- 寄付金の目標人数を 30 人以上、金額を 150 万円以上とする

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数はのべ 16 人、金額は 616,000 円いただいた。</li> <li>・人数、金額とも目標には及ばなかったが、寄付していただいた方からは「利用者さんのために」と激励の言葉をいただいた。</li> </ul>
-----------	--

(5) 助成金活用

- 助成事業の情報収集を継続し、身の丈に合った活用に努める。

実施内容とその結果	助成金および補助金の内容は以下の通り。定期的に情報収集に努めている
-----------	-----------------------------------

助成団体	金額	助成内容
北海道労働局	570,000 円	両立支援等助成金
北海道労働局	300,000 円	特定求職者雇用開発助成金
北海道国民健康保険団体連合会	(WS) 352,000 円 (GH) 400,000 円	感染症対策徹底支援事業

(6) 認定NPO法人活動

- 寄付額に目標を定め、税金還付の利点を活かして寄付金獲得に努める

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付金受領証明書の発行…個人 12 人、団体 1 団体</li> <li>・目標は設定できなかったが、「利用者さんの工賃に」と寄付された方が複数おられ、工賃向上や環境整備のための物品購入などに活用した。</li> </ul>
-----------	--

(7) 「わっくわく」地域開放の取組み

- ハード面の地域開放に加え、ボランティア受け入れなどソフト面での地域開放を目指す

実施内容とその結果	取組みがなかった。
-----------	-----------

- 来年度以降の実行に向け、検討を重ね整備をすすめる

実施内容とその結果	コロナ感染対策の対応に追われ検討できなかった。
-----------	-------------------------

(8) 借入金返済について

- 法人の黒字化をめざし計画どおりの返済を行う

実施内容とその結果	WS 事業運営の個人短期借入金は 200 万円全額返済した。長期借入金返済も契約通り返済できた。
-----------	--

(9) 職員の働く意欲向上について

- キャリアパス制度の研修制度および評価制度を再構築し、制度の充実を図る

実施内容とその結果	制度の再構築は実施できなかった。
-----------	------------------

- 福利厚生を予算化し、働く環境の整備をめざす

実施内容とその結果	就業規則等の改定により働きやすい職場づくりを目指した。予算化の検討はできなかった。
-----------	---

- 職員が「自分もここを利用したい」と思えるような各事業をすすめる

実施内容とその結果	具体的な取り組みの検討も行えなかった。
-----------	---------------------

(10) 防災対策について

- 新型コロナウイルス感染症も一種の「災害」ととらえ、予防対策を徹底する

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 国や道からの通知を朝礼で職員に周知した。</li><li>・ マスク、手洗い、三密避ける行動などわかりやすいポスターを工夫し利用者への周知徹底に努めた。</li></ul>
-----------	--

- 火災訓練を年 1 回実施するのに加え、各事業所で防災教育をおこなう

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・ WS、GH 合同で火災訓練を計画実施した。消防書が入らない自主訓練も実施した。</li><li>・ 火災訓練の会議上で利用者および職員に向けた防災教育を実施した</li></ul>
-----------	--

- 地震、洪水を想定した防災訓練を年 1 回以上事業所ごとに実施する

実施内容とその結果	WS、GH 合同で防災訓練として自家発電機の指導訓練を実施した
-----------	---------------------------------

【個別事業報告 1】

令和2年度

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい（WS） 事業活動報告

1 活動内容と結果

(1) 基本方針

- 事業所の体力に合った事業計画にのっとり、充実した支援を図る

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染対策を優先し密になる取組は自粛した。</li> <li>・各部中心のレクを企画実施し利用者の交流願望実現に向け取り組んだ。今できることの取り組みを考え実行したことは、不十分ながら評価できると考える。</li> </ul>
-----------	---

- 各職員の役割を明確にし、責任とやりがいを持つことができる事業所を目指す

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝の職員ミーティングと不定期ではあるが職員会議の中で、事業所全体の動きや課題を確認し合い対策を共有できた。</li> <li>・各職員個々の役割の明確化はまだできていない。</li> </ul>
-----------	--

(2) 就労移行支援のサービス提供について

- 積極的な一般就労を目指す支援をおこない、今年度も就職へ向けた支援をおこなう

実施内容とその結果	<p>コロナ禍の状況により、予定していた企業見学・職場実習が延期・中止となることが多く、就職に繋がらなかった。トレーニングプログラムや履歴書作成、面接練習などの訓練は継続して実施できた。</p>
-----------	---

- 実践的なトレーニングプログラムを継続する

履歴書添削、ハローワーク同行、トレーニングプログラム研修の実施ほか

実施内容とその結果	<p>就職活動に向けたトレーニングプログラムを継続して毎月実施している。3密を避けるため同じ内容で月3回行った。今年度は高等養護学校卒業の新規利用者が多く、「社会的マナー」や「仕事をする目的」など基礎的な内容を中心に行なった。就職面接に向けた履歴書の作成指導、外部機関の方を面接官役として模擬就職面接の実施。ハローワークへの同行は、コロナの影響で昨年より減っているが実施している。</p>
-----------	--

(3) 就労継続支援B型のサービス提供について

- 他機関に働きかけ、新規継続支援B型利用者の増加を図る

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援学校や高等養護学校の見学実習の受け入れで新規利用者が増加した。</li> <li>・他機関からの見学実習の問い合わせにも可能な限り応えている。丁寧な取り組みが今後の利用者増につながると思う。</li> </ul>
-----------	--

- 利用者の目標工賃平均月額 1万円以上、時給額 300円以上を維持する

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でカフェの営業自粛や委託先からの注文激減が売上に影響した。農業部のネット販売挑戦で予想以上の注文があり昨年</li> </ul>
-----------	--

	並みの売り上げに回復し工賃支給は継続できたが、目標平均工賃1万円には及ばなかった。 ・平均時給額も300円に達成しなかった。
--	---

(4) 事業運営の安定化について

- 利用者数の維持および利用日数の増加をめざす

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者への丁寧な支援を行うことで利用者数は維持できた。</li> <li>・休日の勉強会やイベントを予定したが、コロナ禍による中止や自粛及び警報発令による臨時閉所で、開催できたのは2割程度となり利用日数が減少した。</li> </ul>
-----------	--

- 事務局と連携し、事業の広報活動をすすめる

実施内容とその結果	法人の通信発行が毎月実施できなかったため、事業の広報活動はできなかった。
-----------	--------------------------------------

(5) 非常災害・防災対策について

- コロナウイルス感染症もひとつの「災害」としてとらえ、ふだんからの対策とともに、感染者が出た際の対応についてマニュアル化する

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルを作成したが、11月の利用者家庭内感染発生時に実際に活用する段階で不十分な点が明確になった。 (事業所内は濃厚接触の対象外の保健所判断であった)</li> <li>・感染の研修出席者による事業所内研修を行った。ひとり一人の職員が動けるように研修を重ねる必要を実感した。</li> </ul>
-----------	--

- 地震および洪水を想定した防災訓練、住居ごとの火災訓練を各1回ずつ実施する

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練は自家用発電装置の操作方法を実践した</li> <li>・火災訓練は9月に消毒用アルコールから発火という想定でおこなった</li> </ul>
-----------	---

- 防災設備の操作を周知徹底する

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主訓練 令和2年9月16日</li> <li>・消防署立ち合い訓練 令和2年12月17日</li> </ul>
-----------	--

(6) 職員の資質向上について

- 年間計画に沿って研修をおこない、支援技術の研鑽につとめる

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画を立てることができなかった。</li> <li>・新採用職員研修が2度計4人実施した。今年度から3か月フォロー研修を実施し新人の職場定着に有効であったと評価している。</li> </ul>
-----------	--

(7) その他

- 就労定着支援事業化のための具体的計画を立てる

実施内容とその結果	就労定着支援事業化の具体的計画は立っていない。 制度の改定も行われたため、関係機関からの情報収集に努め現
-----------	---

	状での可能性を引き続き検討する。
--	------------------

## 2 令和2年度利用実績（カッコ内は前年度比）

	就労移行支援	就労継続支援B型
年開所日数	238日	238日
年のべ利用者数	1,049人(+340人)	3,707人(+314人)
一日平均利用者数	4.4人(+1.7人)	15.6人(+2.7人)
3月末時点の利用登録者	4人	20人
新規登録者	3人	0人
退所者	0人	4人〔就職者なし〕

## 3 令和2年度就労支援事業会計決算

収入の部			
科目	合計	前年度比	解説
売上（カフェ）	758,910	-667,880	わっくわくカフェ
売上（調理部その他）	1,426,310	-312,020	WS利用者向け昼食、イベントほか
売上（製造部）	713,680	+45,450	手工芸品売上
売上（農業部）	776,307	+460,282	野菜販売売上
施設外作業収入	35,271	-1,015	利用者の事業所外作業時の収入
委託料	1,447,138	+227,195	調理、除雪、清掃、施設管理など
宅配便収入	251,491	+231,482	
補助金・寄付金	310,000	+281,724	倶知安町飲食店支援金、寄付金
その他収益	31,767	-15,024	受取利息、石けん売上ほか
法人内振替	180,000	+180,000	本部寄付金を振替え
収入計	5,930,874	+25,681	

支出の部			
科目	合計	前年度比	解説
原価材料費	1,425,112	-526,423	手工芸材料、農作物種子など
消耗品費	423,770	-86,291	
研修費・開発費	30,000	-16,940	各部商品開発研修、商品開発
設備備品費	6,695	-74,122	作業用テーブル、農具、除雪器具ほか
水光熱費	120,000	-6,327	調理部、カフェ
車両費	89,974	-85,911	トラクター、タイヤショベル維持管理
その他経費	477,224	+352,213	各種手数料、宅配便送料など
利用者工賃・賞与	3,211,130	-265,650	
支出計	5,783,905	-1,169,655	

収支差額	+146,969
前期繰越正味財産額	828,728
当期正味財産合計	975,697

#### 4 利用者への工賃支払状況について

○工賃平均月額…8,919 円（前年度比 -2,875 円）

○工賃平均時給額…252.9 円（前年度比 -50.0 円）

	計	前年度比
工賃総支給額	3,211,130 円	+498,604円
のべ支給利用者数	309 人	+79 人
のべ作業時間数	12,698 時間	+3,744 時間

#### 5 事業活動およびその件数

内容	件数	解説
①就労のための研修	36 件	利用者向けに「就労支援トレーニングプログラム」を実施 同じ内容を利用者を変えて月 3 回おこなう
②就職活動 ・ 職場実習 ・ 職場見学	1 件 2 件	
③販売活動 ・ 委託販売  ・ インターネット販売	3 件  1 件	元気ショップ、元気ショップいこ〜る、 コープさっぽろ倶知安店 「食べチョコ」
④利用者研修	2 件	防災研修など
⑤交流・レクリエーション	3 件	合同焼肉会、納会
⑥地域活動	1 件	赤い羽根街頭募金、
⑦職員資質向上研修	5 件	所内研修
⑧防災対策	2 件	防災訓練（地震・洪水）、火災訓練各 1 件
⑨感染症対策	2 件	新型コロナウイルス感染症対策研修



【個別事業報告 2】

令和2年度 グループホームよろこび（GH） 事業活動報告

1 活動内容と結果

(1) 基本方針

- 当事業所の理念のもと、入居者の自立支援を継続する

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の意思尊重は支援計画の中でおこなってきた</li> <li>・支援の振り返りは定期的にはできなかった</li> </ul>
-----------	---

- 職員体制を見直し、各職員の役割を明確にして責任とやりがいを持てる運営をすすめる

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割意識はばらつきがみられたものの円滑に進んだ</li> <li>・職員の異動などのため今後見直しを検討する</li> </ul>
-----------	---

(2) サービスの提供について

- 職員による定期的な支援会議の定着をめざす

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる限り職場内の支援会議をするようつとめた</li> <li>・スケジュールの調整が課題である</li> </ul>
-----------	---

- 事業所外との情報共有をより密にし、一体となった支援活動をおこなう

実施内容とその結果	今年度は感染症対策のため電話連絡などで実施した
-----------	-------------------------

(3) 事業運営の安定化について

- 法人事務局と連携し、人事・広報・会計における体制づくりをすすめる

実施内容とその結果	体制づくりは特に問題なしと思われる
-----------	-------------------

- 地域の実情を考慮し、新居開拓は次年度以降に検討する

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家賃高騰によりできなかった</li> <li>・今後も人件費の点を考慮し様子見と考える</li> </ul>
-----------	--

(4) 非常災害・防災対策について

- コロナウイルス感染症もひとつの「災害」としてとらえ、ふだんからの対策とともに、感染者が出た際の対応についてマニュアル化する

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者へ訪問時説明し、協力してもらっている</li> <li>・マニュアルは作成したが、シミュレーションはおこなっていない</li> </ul>
-----------	--

- 地震および洪水を想定した防災訓練、住居ごとの火災訓練を各1回ずつ実施する

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練、火災訓練を各1回実施した</li> <li>・平日実施のため参加できない入居者がいた</li> </ul>
-----------	--

- 防災設備の操作を周知徹底する

実施内容とその結果	必要時に向けて操作方法などを伝えている
-----------	---------------------

(5) 職員の資質向上について

- 積極的に所内研修を実施することで支援力向上をめざす

実施内容とその結果	感染予防のためほとんど開催できなかった
-----------	---------------------

- 外部事業所の見学研修を検討する

実施内容とその結果	必要と思われることがなかったが次年度にまわしたい
-----------	--------------------------

(6) 入居者利用料の収支報告および清算について

- 返済方法については個別に承諾を得て実施する

実施内容とその結果	6月19～29日利用者都合に合わせ数回説明。同意のうえ個別に分割返金を行った。
-----------	---

- 新たに「家電製品更新・修繕積立金」を設け、入居者に同意を得る

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「グループホームよろこび運営規程」を変更し、「<u>グループホームよろこび利用料規程</u>」の新設及び水光熱費・日用品費の減額を検討した。(別紙③参照)</li> <li>・利用料規程・利用料会計・利用料積立金制度について利用者に説明し同意を得た。令和3年4月1日から施行する。</li> </ul>
-----------	---

## 2 令和2年度利用実績（カッコ内は前年度比）

年開所日数	365日
年のべ利用者数	7,409人(+27人)
3月末時点の利用登録者	21人
新規登録者	0人
退居者	1人

入居者の利用区分 (3月末現在)	
非該当区分1	2人
区分2	9人
区分3	7人
区分4	2人
区分5	1人
区分6	0人

## 3 事業活動

月日	活動種別	活動内容
8月26日	行事	GH, WS合同焼肉交流会
10月30日 ～11月2日	防災対策	防災訓練(非常用発電機の作動方法)
11月21日	防災対策	火災訓練
12月9日	感染症対策	感染症研修

【個別事業計画 3】

令和2年度 K.S.C. Juntos 事業活動報告

1 活動内容と結果

(1) 基本方針

- 登録選手がスポーツを通じて自分の生活を充実できることを目指す
- サポートスタッフの役割を明確にし、活動が持続できるような体制づくりをすすめる
- フットサルはじめスポーツをすることの楽しさ、やりがいを伝える

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で活動がほとんどできなかった</li> <li>・スタッフが病院職員中心になり、長期活動ができる体制が作れなかった</li> </ul>
-----------	---

(2) 今年度の活動目標について

- コロナウイルス感染症の影響で大会および練習ができない状態であるが、その中でも一人でできる自主練習を各選手ができるよう個別対応をする

実施内容とその結果	感染症の影響が少ない屋外にて自主練習をしている
-----------	-------------------------

- 選手、サポートスタッフの増員するための活動をすすめる

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選手は1人加入したものの3人退部、2人休部となっている</li> </ul>
-----------	--

(3) 活動状況

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症拡大の影響を受け、予定された大会はすべて中止、練習も自主練習を中心にした</li> <li>・北陽小学校体育館にて、小学生との合同練習を不定期におこなっている</li> </ul>
-----------	---

2 活動内容およびその件数

月日	活動内容	活動場所	参加人数
不定期	自主練習	各自	
不定期	小学生との合同練習	倶知安北陽小学校	4~7人

3 会員数（3月末現在）

当事者会員	7人
サポートスタッフ	12人
チームサポーター	2人
スポンサー会員	4人・団体